

2021年(令和3年)3月9日(火曜日)

高知新聞



高知の被ばくの実態を世界に発信するよう呼び掛ける川崎哲さん＝写真左（県庁）

高知の被ばく発信を

ICAN川崎氏知事に要請

核兵器廃絶国際キャ

ンペーン（ICAN）

の国際運営委員、川崎

哲さん（52）らが8日、

県庁を訪れ、1954

年に米国の水爆実験で

被ばくした県内元船員

の実態を世界へ発信す

るよう、浜田省司知事

に求めた。

川崎さんは、1月に

発効した核兵器禁止条

約には核実験被害者の

救済が明記されてお

り、今後はその実現に

向けた調査が世界的に

進むと指摘。「高知は核

被害の一つの舞台。行

政が元船員の証言をまとめて締約国に報告するなど、市民と協力し調査や発信を進めてほしい」と呼び掛けた。2019年12月にかんで亡くなった元船員、増本和馬さんの妻・美保さん（80）＝高知市＝も「被災者が抱える問題の解決に向け、国への働き掛けの後押しをしてほしい」と訴えた。

これに対し浜田知事は、県として寄り添い、できることは協力したい」とする一方、「救済や調査は」国が一義的な責任をもってやっていくべきだ」と述べた。

（高井美咲）